

2022年度 第10回定例理事会議事録

日時:2022年12月15日(木) 13:30-16:00

場所:ピアマリン1階 日本人会ミーティングルーム (Web参加あり)

会議出席者:(理事) 青木、権田、羽賀、渡辺た、八巻、須永、山口、スミス、野口、
武石、井上

※リモート参加 (理事)佐藤、(監事) 渡辺な

傍聴: 事務局1名

欠席: パサワー、金澤、柴垣、栗田

議題:

1. 総領事館より(尾形首席領事)

- 理事の皆さんには秋祭りをはじめ、今年1年ご活躍頂き、感謝申し上げます。
- コロナの影響もあり、犯罪が増加している。理事の方々を始め、皆さんには注意をお願いしたい。

2. 活動報告

(1)青年部(武石部長)

・秋祭りに関する承認依頼事項

- 警察へ秋祭り関連支援金として\$1,000.00の支払いを行いたい。
- 警察から「パイロンバーを譲ってもらうことはできないか」という問い合わせがあった。例年よりも大人数での支援があった為、寄付を行いたい。もし承認を頂ければ、パイロンバーは\$429.50で日本人会がアクアマインド社から購入して、警察へ寄付する予定。
- グラムTVに秋祭りの映像編集及び、USB300本(例年通りの数)の作成依頼を行いたい。費用は\$4,888.00。
- アクアマインド社に秋祭り報告書の作成依頼を行いたい。費用は\$500.00。
- トロピカルカラー社には秋祭り当日、写真撮影などの面でご支援頂いた。もしトロピカルカラー社が利益を得られるようであれば、謝礼の意味も込めて秋祭り報告書の印刷依頼を行いたい。費用は\$1,500.00。尚、トロピカルカラー社に受けてもらえなければ他社に発注する可能性もある。
→上記5点について日本人会理事会で承認された。

・<質疑応答・意見>

警察にパイロンバーを寄付するのであれば日本人会のロゴを入れるのはどうか？

→承認後に検討を行う。

秋祭り報告書は印刷物を作成するのではなく、USBに入れてしまえばどうか？

→お礼回りの際に印刷物を持参したほうが会話に繋がる為、印刷物は作成したい。

・秋祭りに関する検討事項

- 秋祭り実行委員会の連絡ツールとして使用していたSlackについて、今年のやり取りを来年も参考資料として活用できるようにする為、有料版へ移行するか否かについて検討を行いたい。必要費用は年間\$1,305.00(1ヶ月\$8.75×15人×12ヶ月)。現状の無料版Slackは来年度も閲覧可能ではあるが、容量が限られている為、初

期にアップロードした重いファイルなどは見ることが出来なくなっている可能性が大きい。

・＜質疑応答・意見＞

実際のところ、準備期間中はSlackのスレッドの更新が多く、付いていくことができなかった。

最新版の資料を見つけるのにも苦労した。

時系列順に情報を確認できるというメリットはあるので1アカウントのみを保存用として契約するのはどうか？

他のGoogleドライブなどを活用して資料を保存するという案もある。

→最低限の費用でデータを保存できる方法を検討する。

・秋祭りの来場者数について

- 昨年と同様の計算方法及び日本観光協会の計算方法などを参考にして計算した結果、来場者数は 42,000 人と推定される。尚、日本人会理事会内での申し送りの数字としては 30,000 人弱とする。

・秋祭りの収支について

- 最終収支は約\$50,000 の黒字となった。

(2)文化部・商工部(須永部長)

・アートアンドクラフトフェアについて

- 出展者が見込めない為、「アートアンドクラフトフェア」は中止とし、代替イベントとして「日本人会 50 周年記念チャリティバザー」を開催したい。実施予定日は 2023 年 3 月中とし、収益は日本人学校へ寄付する。売り物は新品、新古品とする予定だが今後詳細を検討する。

→アートアンドクラフトは中止とし、バザーの内容は次回までに検討することが日本人会理事会で承認された。

・＜質疑応答・意見＞

文化活動を行っているサークル活動が少ない為、中止は致し方ないと思う。

アートアンドクラフトは今後ずっと開催しないのか？

→今回は中止とし、来年以降は来年に検討する。

バザーは理事会活動の締めくくり、日本人会会員の勧誘の場とする意味合いも兼ねる予定である為、収支以外の意義もある。

(3)渉外広報部

・グアム日本人会コミュニケーション課題の整理について

- 商工部の渡辺部長に「グアム日本人会コミュニケーション課題の整理」のご提案を頂いた。

・＜質疑応答・意見＞

グアム日本人会のインスタに汐留の写真が挙げられているが何が目的なのか？

→SNSは継続投稿していくことが重要である為、その目的を果たすために日本の風景写真が挙げられていたと思われる。しかし、より目的を明確にする為、掲載カレンダーを作成した方が良いと思う。

それぞれのメディアの強み・弱みを整理して活用方法を検討していくことが今後必要である。

(4) 会計部(八巻部長)

・日本人会活動の収支について

- 10 月末時点では\$56,857.97 の黒字である。秋祭りでの約\$50,000.00 の黒字と毎月の事務局の\$5,000.00 の固定費を勘案すると年度末時点では約\$100,000.00 の黒字になると見込まれる。

・<質疑応答・意見>

秋祭りの収入の中に含まれているスポンサー料は新年会とバザーに一部振り分けられるのではないか？また、秋祭りの黒字分は日本人学校に寄付されるのでは？

→上記を勘案して資料を見直す。

チャリティゴルフからの収入について、2021 年度開催で得られた約\$12,000.00 は今年度中に日本人学校に寄付し、2022 年度開催で得られた分は年度末の収支を見て検討する。

(5) 総務部(羽賀部長)

・新年祝賀会兼 50 周年記念式典について

- 式次第は別添資料を原案とし、本日以降の内容・支出変更については総務部長に一任頂きたい。尚、式当日オフアイランドの 2 名を除く理事については各自の役割を総務部長が決める為、ご協力をお願いしたい。

→グアム日本人会理事会で承認された。

- 出欠確認の連絡は再度行う。

(6) 50 周年記念事業部(野口部長)

・50 周年記念誌作成の進捗状況について

- 巻頭挨拶は依頼中。
- インタビューは完了し、編集中。
- 座談会については旅行業界は実施済み。ホテル業界は近日中に実施予定。
- 各年代写真は近年の写真を中心に編集中。
- 広告は 1 ページ広告は 5 社、1/2 ページ広告は 2 社、1/4 ページは 2 社に応募を頂いている。

(7) 教育部(権田部長)

・学校理事会報告

- 約 20 年にわたって働いて頂いた事務局長が来年 3 月で退職される。後任を至急探す。
- 補習授業校の後任校長の人選を行っている。
- 日本人会理事会にてタスクフォースを設置して学校課題解決の提言ができるように話し合いを持っている。
- 幼稚部の園児増員の為に段取りを行っている。

・タスクフォースからの報告

- キャッシュフローベースで見ると 2022 年度は-\$32,421(学校運営収支+その他収入(日本人会からの寄付を 2021 年度同額と見込む)+銀行借入金利息)であり、ここに銀行からの借入金元本返済-\$60,000.00 を含むと今年度は-\$92,421.00 である。これが 5~6 年続くと考えられるが、2023 年 3 月末の銀行残高を約\$600,000.00 と

すると最終的には銀行残高はマイナスにならないと想定される(ただし返済完了時は残高はほぼゼロの見込み。新たな大きな支出増や、物価高騰の影響を加味していない)。結果として銀行残高がマイナスにならないことは分かったが、このような重大な問題を日本人会理事会としてきちんと認識できていたのか？また、教育部だけで抱えるには大きすぎる問題ではないか？

- 日本人学校内での規定整備が弱く、日本人会理事会の位置づけも明記されていない。については決裁基準をきちんと定めた方が事がスムーズに動く想定される。
- 秋祭りやチャリティゴルフからの寄付金も大きいですが、一番収益性の高い幼稚部の園児数を増やすことが、学校の財政問題を解決する為にはより効果が大いと思われる。あと 10 人園児数を増やせば学校収支がプラスマイナスゼロになる。
- 補習授業校の先生方のベースアップを検討している。しかし、文科省から派遣されている全日制の先生方は文科省の基準に従って目標設定が行われているが、現地採用の先生方の目標設定は行われていない為、何を基準にベースアップを行うかが不明確である。については、この点について見直しが必要。
- 事務局体制改革が必要。今までは生徒数も多く、財政面に問題がなかった為、学校さえ上手く回っていれば問題が顕在化しなかった。現状はそうではない為、新しく採用される方には財政面にも関与してもらいたい。

・＜質疑応答・意見＞

在留邦人の子女教育を支える制度はないのか？

→今年はまだまその一部制度を使用することができたが、事務局・校長、先生方にはこのような情報に関する感度を上げてもらう必要がある。

全日校と補習授業校の間に立って上手く取りまとめる人材が必要だと思う。

学校経営が厳しいことは、主に子供たちにとってはセンシティブな問題である為、やみくもに外部の人に情報共有すべきではないが、過去の有識者の意見などは取り入れるべきではないか？

ボランティア活動の延長で解決できるような問題ではないと思う。しかし、理事の方々も本来の業務がある為、どこまで日本人会理事会として関わるのか線引きをしてほしい。

グアムの他の私立学校の事例も参考にした方が良いと思う。

学校経営課題の改善のためには先生方の協力も必要。約 2 年前に経営の改善策として進めた複式学級の取り組みが上手くいかなかった為、この経営危機の問題に触れること自体がタブーとなっているように感じる。そこにメス入れをしてくれたのが今年の日本人会理事会。

日本人会会員にもっとメリットを設けた方が良いのではないか？

コロナ禍もあり、全日制と補習授業校の先生間で交流が全くないことも問題である。

学校の問題は組織問題と財政問題の二面がある。実際のところ組織としては1つなのか？

→グアムの法律上の登記は 1 つの組織であり、銀行口座も 1 つ。1つの組織の中にオペレーションを行う部署が 2 つあるとイメージすると分かりやすい。

歴代理事としてのノウハウも蓄積していくことが必要である。

今まで問題意識はあったが、着手はできていなかった。今年度一杯には何とか道筋をつけたい。

日本人会の会員数を増やすことが生徒数の増加にも繋がると思う。

次回の開催は 1 月 19 日(木)13:30～

以上